

## 年頭の辞

一般社団法人

全国ハイヤー・タクシー連合会

会長 川鍋一朗

令和8年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

タクシー事業は、地域の日常生活や社会経済活動を支える地域公共交通機関として欠かすことのできないエッセンシャルサービスの一翼を担い、地域社会の安心と便利を守る使命を果たしております。

また、タクシーの供給力向上について、二種免許取得の効率化等支援措置を活用して業界を挙げてタクシードライバーの増員を図っており、昨年11月末のドライバー数は、運賃改定の効果もありコロナ禍発生直後の令和2年3月末と比較して87.1%まで回復してまいりました。

加えて、交通空白地域において、乗合タクシーの普及促進、全国における日本版ライドシェアの展開、公共ライドシェアとの連携等公共交通機関の役割の補完を図るなど、国土交通省交通空白解消本部や自治体等の関係者と連携しながら、地域や利用者のニーズに応えて安全・安心かつ質の高いサービスを提供しております。

私たちタクシー事業者は、少子・高齢化社会の急速な進展並びにGX（グリーン・トランジットフォーメーション）、DX（デジタルトランジットフォーメーション）の大きな潮流の中、地域公共交通機関として課せられた重要な使命を果たすため、

- 利用者利便の向上及び需要拡大に向けたスマート配車の普及促進及びキャッシュレス化の推進
- 交通空白の解消に向けた人材確保対策の推進
- 「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づいた交通事故防止の徹底
- 2050年カーボンニュートラル達成を目指し、電気自動車等の普及促進等による環境対策の推進
- ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの普及促進等によるケア輸送体制の整備
- 妊婦応援タクシー・育児支援タクシーの普及促進による子育て支援の推進
- 地方自治体、地域の観光事業者と一体となった観光地における二次交通ネット

## トワークの充実

等諸施策を引き続き推進し、タクシー事業の進化に努めてまいります。

一方、地方においては、経営の改善、乗務員不足、地域別最低賃金の大幅な引上げ等様々な課題があることから、当連合会に私が本部長となって「地方タクシー事業再生・進化推進特別本部」を設置し、主として地方事業者から寄せられた様々な意見・要望に取り組んでおります。

ところで、空港、観光地等における白タク及び都市型ハイヤーによる客引き、名義貸し等の悪質な違法行為がこのところ大きな問題となっています。関係機関との連携を強化して違法行為の撲滅に取り組んでまいります。

また、いわゆる欧米型のライドシェアは、事業主体が運行及び車両整備管理等について、民事・刑事上の法的な最終責任を負わない点が最大の問題で、加えて、運転者を独立した個人事業主と位置づけ、厳格化する労働関係法令の規制を逃れようとするもので、ワーキングプア層を増加させ、交通渋滞や事故を増加させるとともに、CO<sub>2</sub>排出量を増大させ、2050年カーボンニュートラル実現にも逆行するものです。

私どもハイヤー・タクシー事業者は、地方創生を担う重要な社会インフラであるという認識の下、今後とも国民に対する安全・安心な輸送サービスを確保すべく、業界一致団結し、労働組合、個人タクシー業界、バス業界、自動車メーカー、消費者団体、「交通の安全と労働を考える市民会議」そして全国の地方自治体と緊密に連携し、ライドシェア新法の制定に断固として反対してまいります。

最後に、自動運転については、アメリカや中国ではドライバーが乗車しないタクシーが商用として実用化され、国内においてもタクシー事業者による自動運転タクシーの情報収集のための試験運行が始まっています。中長期的な生産年齢人口の減少を踏まえると、自動運転タクシーはタクシー供給力の確保のための有効な手段となるものと期待されることから、現在のタクシー事業と同等か、それ以上の安全性がタクシー事業者の責任において確保されることを基本として、タクシー業界における運行管理、整備管理等の経験の蓄積を還元できるよう、社会実装のための制度のあり方等についての検討に積極的に参画し、移動の未来を託すべき自動運転タクシーの実用化に向け、主体的に関与してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。